

「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修 令和7年度 第3期

「指揮統制」コース（上級管理）

【各講義の内容と学習目標】

オンデマンド講義：(1回目)R8年1月13日（火） ～ 2月15日（日）
（2回目）R8年2月2日（月） ～ 3月8日（日）
対面演習：(1回目)R8年2月5日（木）
（2回目）R8年2月26日（木）

形式		単元No.	単元名	単元の概要	講義No.	時間	動画 時間		講師	学習目標
オン デ マ ン ド	講 義	0	コース紹介		0	2分	2分		林 春男 (京都大学)	
		1	指揮統制総論 (世界標準に即した指揮統制)	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	1-1	59分	1分	学習項目		<ul style="list-style-type: none">危機対応組織のリーダーが果たすべき責務について説明できる。危機にあたって組織のリーダーが行う業務について説明できる。効果的な危機対応を可能にする指揮統制の世界標準について説明できる。危機対応の世界標準を支える4本柱について説明できる。
							13分	指揮・統制とは		
							13分			
							14分			
							13分			
							5分	ふりかえり		
		2	世界標準に則した災害対策を 実現するための留意点	現行の災害対応を世界標準に即したものに変換するにあたって留意すべき2つの側面を学ぶ。	1-2	39分	15分	世界標準に即した 災害対応体制の構築		
							18分			
							6分			
							10分			災害対策本部の 活動のあり方
							22分			
							2-2		31分	
		4分								
		9分								
		8分								
		5分								
		4分								
3	指揮統制の世界標準 (危機対応に必要な役割(部門)と機能)	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学ぶ。	3	39分	4分	学習項目	秋富 慎司 (日本医師会 総合政策研究機構)	<ul style="list-style-type: none">Incident Command Systemの役割と機能について説明できる。部門別における目的と責務について説明できる。PlanningのPとIncident Action Planについて説明できる。		
					16分					
					14分					
					4分					
1分	ふりかえり									
4	指揮統制の現状	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	4	29分	29分		熊本県人吉市（松岡 隼人） ※林 春男（解説）	<ul style="list-style-type: none">経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。		
5	日本社会に適した指揮統制のあり方 (危機対応組織を動かすための14の原則)	危機対応の世界標準に即して災害対策本部の統制のあり方を学ぶ。	5	48分	2分	学習項目	林 春男 (京都大学)	<ul style="list-style-type: none">世界標準に即した危機対応で活用されるICSの14の基本原則を理解するあらゆる種類や規模の危機に対応可能にするオールハザードアプローチについて理解するどのような危機にも対応できる組織とするために考慮すべきことを知る危機対応組織における指揮統制を効果的に実現するために考慮すべきことを知る危機対応を効果的に推進する前提条件として考慮すべきことを知る		
					4分					
					8分					
					16分					
8分	ふりかえり									
7分										
3分										
6		リーダーシップのあり方	リーダーシップの考え方と指揮統制を行うための要求事項を学ぶ。	6	56分	1分	学習項目	林 春男 (京都大学)	<ul style="list-style-type: none">阪神・淡路大震災における応急対応から復興の現場で「その場を仕切れる人」について説明できる。リーダーシップ理論の変遷について説明できる。John Adairの行動中心型リーダーシップ理論について説明できる。行動中心型リーダーシップ理論について説明できる。	
	10分									
	15分									
	8分									
13分	ふりかえり									
9分										
7		参謀にとつての災害対策本部運営	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	7	68分	1分	学習項目	越野 修三 (元 岩手県防災危機管理監)	<ul style="list-style-type: none">なぜ危機対応がうまくいかないかについて説明できる。災害対策本部のの役割と課題について説明できる。機能的な災害対策本部運営について説明できる。情報処理と状況判断について説明できる。	
						16分				
	18分									
	13分									
15分	ふりかえり									
5分										
8		災害広報	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者等にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	8	61分	22分	行政の視点	高島 哲夫（元 防災科学技術研究所）	<ul style="list-style-type: none">災害時の行政機関による広報の内容・方法等を説明できる。災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。	
						30分	災害時のメディア対応	木戸 崇之（エービーシー・リブラ）		
	9分					演習説明	辻岡 綾（防災科学技術研究所）			
	対 面					演 習	災害広報（記者会見演習）			120分
9		全体討論	防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	9	75分					